

火起こし（ファイアースターター）

場所	野外炊飯場	4 賢い教育をみんなに	7 エネルギーをみんなにモビックライドに	13 気候変動に具体的な対策を		
時間	30分～					
値段	料金表参照		人数			
季節	年間		何人でも			
準備物	【利用者】軍手、新聞紙、救急用品、季節に適した服装 別紙「野外炊飯（準備・片付け）」参照					

プログラムの概要・ねらい

“火打ち石”の現代版、ファイアースターターを使用して火を起す。火花から火種を作り、大きな火へ移すことで、火の特性に気づくことができる。

①準備

サービスセンター受付で、ファイアースターター、麻ひもを受け取る。
薪※を受け取る。※実施途中で薪が足りなくなる場合は、スタッフへ連絡する
火付けの準備をしておく。（※別紙「火付け」参照）

②実施の流れ

【時間】

0:00 プログラムシートで、やり方や留意事項の確認をする。
麻ひもをほどいて着火底の準備をする。



①麻ひもをねじるようにし、ほどく。（写真①）

0:10 【火の着け方の流れ】
①麻ひもの上でブレードをロッドに当ててスライドさせて削る。
(ロッドからマグネシウムの粉が落ちる)（写真②）



②ブレードを強く速くスライドさせて火花を飛ばし、マグネシウムの粉末に当てる着火する。（写真③）



③麻ひもはすぐに燃えてしまうので、新聞紙や細かくした薪へに火を移す。
起きた火で、野外炊飯などをする。（写真④）



<プログラム時間の目安>

火おこし+野外炊飯	=0.5時間+3.5時間=4.0時間
火おこし+スモアーズ	=0.5時間+1.0時間=1.5時間
火おこし+焼き板	=0.5時間+2.0時間=2.5時間
火おこし+ぐるぐる棒巻きパン	=0.5時間+1.5時間=2.0時間

0:25 片付け
・使った用具をきれいにする。

0:30 終了

③後片付け

別紙「野外炊飯（準備・片付け）」を参考し、後片付けをしてスタッフの確認を受ける。薪の束数を申告する。
ファイアースターターと余った麻ひもをサービスセンター受付へ返却する。
★かまどに水を掛けて掃除するとレンガが割れてしまうので、絶対に行わない。